

温泉の利用状況について

泉 質： 単純温泉（低張性 弱アルカリ性 高温泉）

温泉成分の特徴： 肌についての塩分が放熱を防ぐので、保温効果が高く湯冷めしにくい温泉です。

（分析場所：混合泉）

源泉の温度及び湧出量： 42.6℃ 一リットル／分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：H30.9.21）

浴槽の種類とその状況： 男女浴場（全て温泉水を使用）

循環、かけ流しの状況： かけ流し式

（浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせています。）

加水の状況： なし

加温の状況： 入浴に適した温度に保つため、冬季加温しています。

新湯との入れ替わり状況： 2時間30分で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日、完全にお湯を抜いて清掃しています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素殺菌により、細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年1回実施しています。

※水質検査証は別に表示

平成30年9月21日

施設名 不知火ホテル

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会